

press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

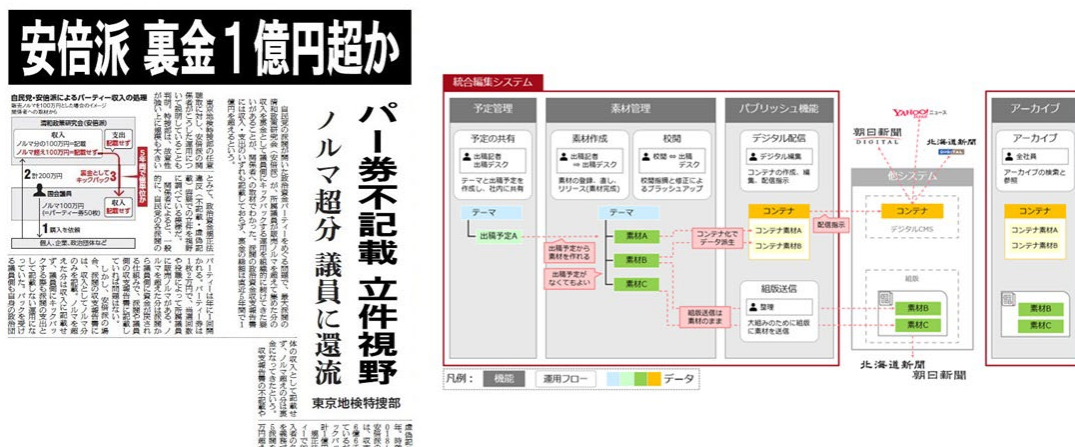
〈報道関係のみなさま〉

朝日新聞社が2024年度新聞協会賞と新聞技術賞を同時受賞

「自民党派閥の裏金問題をめぐる一連のスクープと関連報道」と「朝日・道新による統合編集システムの共同開発」に高い評価

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:角田克)は、日本新聞協会による2024年度の新聞協会賞と新聞技術賞を同時受賞しました。優れた報道に贈られる新聞協会賞には、昨年12月から本社が報じてきた「自民党派閥の裏金問題をめぐる一連のスクープと関連報道」が選ばれました。新聞にかかわる優れた技術を顕彰する新聞技術賞には、「朝日・道新による統合編集システムの共同開発」が選ばれました。新聞協会賞の受賞は2年ぶり、新聞技術賞の受賞は2年連続です。

■朝日新聞デジタル: <https://www.asahi.com/articles/ASS931HGCS93UTIL019M.html>



＝2023年12月1日付朝刊1面(左)と統合編集システムの運用とデータフロー図

■2024年度新聞協会賞:「自民党派閥の裏金問題をめぐる一連のスクープと関連報道」

<受賞した理由(日本新聞協会より)>

朝日新聞社は、自民党安倍派が政治資金パーティーで組織的に巨額の裏金を作り、所属議員に還流していた事実を2023年12月1日付朝刊で特報した。

他の派閥でも同様の裏金作りが行われていたことや、有力政治家の裏金受領などを次々と明らかにするとともに、政治とカネを巡る構造を多角的に掘り下げた。一連の報道は、裏金問題の解明を終始リードし社会に強いインパクトを与えた。

自民党の派閥解体や政治資金規正法の改正など政治の流れに大きな影響を及ぼし、権力監視の役

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3543-8778

E-mail koho2024@asahi.com

press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

割を果たした報道として高く評価され、新聞協会賞に値する。

<受賞者代表のコメント>**東京本社編集局社会部次長 板橋 洋佳**

裏金を得る。政治資金規正法を踏みにじる。政治責任から目を背ける——。編集局の総力をあげて解明を目指したのは、自民党派閥による「アンフェアの極み」でした。

私たちは捜査関係者や議員、秘書、献金する企業幹部らを日夜訪ね歩きましたが、沈黙を守る人も多く、取材は容易なものではありませんでした。支えにしたのは、この問題を世に問うべきだという取材班の思いと、読者のみなさまからの励ましです。

ただ、謎や危惧も残されています。裏金作りは誰が、いつ、どのように始め、何に使われたのか。規正法の改正後も、同じような構図が再び起きるのではないかと。

私たちの取材力をさらに磨き、「政治とカネ」の問題を追い続けます。

■2024年度新聞技術賞：「朝日・道新による統合編集システムの共同開発」**<受賞した理由（日本新聞協会より）>**

朝日新聞社と北海道新聞社は、デジタルと紙面の素材を一元的に作成・配信できる統合編集システムを富士通株式会社と共同開発した。

多メディア型の情報基盤を目指したシステムは、出稿予定の共有から動画を含めた素材編集、紙面・デジタルへの送付、アーカイブ管理までのシームレスな操作環境を実現した。社内連絡機能を充実させてペーパーレス運用を達成するとともに、AI(人工知能)による見出し・要約の作成機能を設けるなど業務の効率化に大きく貢献した。クラウドの活用により機器管理コストを大幅に削減し、ブラウザのみで利用できることで多様な働き方への対応も可能にした。

全国紙とブロック紙が自社専用の仕様を可能な限り廃して共通化を追求したシステムは、他社への展開も期待でき、新聞界のDX化を推進する技術開発として高く評価され、新聞技術賞に値する。

<受賞者代表コメント>**統合編集システムプロジェクトサブマネジャー 黒田 周作**

統合編集システムは新聞社がコンテンツを作成するために使う基幹システムです。新聞紙面だけでなくデジタルメディアにもコンテンツを発信しやすいシステムを目指し、朝日新聞社と北海道新聞社が共同で開発しました。また、多くの新聞社が利用できる汎用性を追求し、長く業界の共通課題だったペーパーレス運用も実現しました。他にも、デジタル向けの動画への対応、朝日新聞社が開発した自動要約AI「TSUNA」との連携などの先進的な取り組みを評価していただいたのであれば光栄です。

<お問い合わせ>

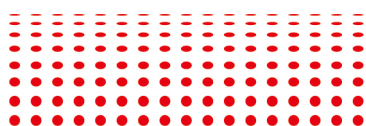
朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3543-8778

E-mail koho2024@asahi.com

>

contact



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

朝日新聞社と北海道新聞社はこれからも協力関係を維持し、統合編集システムの普及を通じて業界の発展に貢献していきたいと考えております。

今回のプロジェクトをともに歩んでくださった北海道新聞社はもちろん、システム開発パートナーの富士通株式会社のみなさまにも多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

(参考資料)

■新聞協会賞/新聞技術賞/新聞経営賞とは？

新聞協会賞は、日本新聞協会が年1回、優れた報道の担い手に贈る賞です。日本新聞協会が新聞全体の信用と権威を高める活動を促進するため1957年に創設しました。編集、技術、経営・業務の3分野で顕著な功績をあげた新聞人を顕彰しています。2020年度に新聞協会賞(旧編集部門)、新聞技術賞(旧技術部門)、新聞経営賞(旧経営・業務部門)の三つに再編されました。

<朝日新聞社のこれまでの受賞歴>

新聞協会賞:旧新聞協会賞編集部門含む

- 2022年度 国土交通省による基幹統計の不正をめぐる一連のスクープと関連報道
- 2021年度 LINEの個人情報管理問題のスクープと関連報道
- 2018年度 財務省による公文書の改ざんをめぐる一連のスクープ
- 2014年度 徳洲会から猪瀬直樹・前東京都知事への5000万円提供をめぐる一連のスクープと関連報道
- 2013年度 手抜き除染一連のスクープ
- 2012年度 長期連載企画「プロメテウスの罠」
- 2010年度 大阪地検特捜部の主任検事による押収資料改ざん事件の特報及び関連報道
- 2005年度 紀宮さま、婚約内定の特報 / JR宝塚線脱線事故の発生から運転再開までの一連の写真報道
- 2002年度 連載「テロリストの軌跡 アタを追う」とそれにかかわる一連の報道
- 1999年度 和歌山市のカレー毒物混入、詐欺事件でのスクープ
- 1998年度 素顔の中学生 保健室から
- 1995年度 有権者はいま 静岡定点調査
- 1993年度 「『金丸氏側に5億円』と供述/東京佐川急便の渡辺元社長」をはじめとする金丸信自民党副総裁(当時)らの政界捜査をめぐる一連のスクープ
- 1992年度 メディア欄の創設
- 1988年度 「天皇陛下のご病気、手術」のスクープ

>

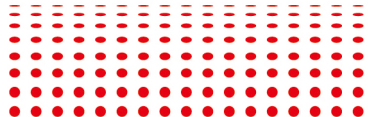
contact

<お問い合わせ>

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3543-8778

E-mail koho2024@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

- 1987年度 チェルノブイリ原発事故に関するソ連報告書のスクープ
- 1984年度 東京医科歯科大学教授選考汚職事件の一連の報道
- 1982年度 「談合」キャンペーン
- 1978年度 木村王国の崩壊
- 1977年度 コーチャン・単独会見記事
- 1968年度 エンタープライズ日本海入口に(報道写真)
- 1962年度 世界移動特派員としての業績
- 1960年度 世界の鼓動
- 1958年度 「神風タクシー」追放の企画記事
- 1957年度 親さがし運動

新聞技術賞:旧新聞協会賞技術部門含む

- 2023年度 ブランケット復活装置の開発
- 2019年度 ネットワークインフラの再編～利便性向上と新技術導入への挑戦～
- 2018年度 ～読者と新聞社 リアルタイムでつなぐ～編集部門向けデジタル指標分析ツール「Hotaru」の開発
- 2017年度 ローラ再生装置の開発
- 2012年度 競争と協調の時代へ～カラープルーフの相互利用～
- 2006年度 ATOM システム～セキュアでオープンなトータルシステムの構築～
- 2005年度 新聞用 FM スクリーンの実用化
- 1992年度 CTP(直接製版)システム—基礎技術の研究確立と実用機の開発
- 1987年度 宛名オンラインシステム基礎システムの開発と実用化
- 1986年度 転写製版システム 基礎技術の研究確立と実用機の開発
- 1981年度 新しい新聞編集・製作システム「NELSON」の開発
- 1960年度 日刊新聞の高速度オフセット印刷の成功
- 1957年度 模写電送方式による新通信機アーク・ファクスの完成、実用化

旧新聞協会賞 経営・業務部門

- 1959年度 ファクシミリ版による日刊新聞の発行

>



contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3543-8778

E-mail koho2024@asahi.com